

平成 31 年度事業計画書

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

1 事業実施の方針

平成 31 年度は、昨年度から取り組み始めた「みやぎ障害者 IT サポートセンター」事業について、新たにパソコンボランティア関連の事業が加わることになった。同時に、運営拠点の移転計画も進めいくなど、動きのある 1 年を見込んでいます。

また、平成から令和に移り変わった機会に、これまでの取り組みをふり返ると様々な課題を確認する事が出来た。

本年度は、これまでの課題を解決しながら、新しい挑戦と共に飛躍できる 1 年にしていきたい。

【平成 31 年度せんだいアビリティネットワーク実施事業の枠組み】

事業名	事業内容	活動内容
①IT 支援事業	IT 講習（仙台市バーチャル、宮城県） i IT サポート事業（仙台市重コミュ、宮城県） パソコンボランティア（宮城県）	・仙台市委託分 バーチャル工房事業 重度障害者コミュニケーション支援センター事業 ・宮城県委託分 障害者 IT サポートセンター事業
	ii IT 支援関連事業	・意思伝達装置等の機器販売及びサポート ・収入獲得支援（依頼対応）
②福祉支援事業	i 自助・自立のための支援事業	・協議のみ
	ii 福祉支援関連事業	・福祉名刺 ・卓上カレンダー販売
③各種委託事業	i 東北福祉大学 ICT コーディネータ育成事務局委託	・事務局運営委託
	ii ホームページ更新委託	・ホームページ更新作業委託
	iii 伝の心カスタマーセンター業務委託	・伝の心カスタマーセンター業務 ・レンタル品の検品業務
④資格認証事業	i 重度障害者 ICT 支援コーディネータの資格認証	・申請に対する審査・資格認証
⑤障害福祉サービス	i 障害者就労継続支援 B 型事業所	・生産活動機会の提供 ・就労に必要な知識や能力の訓練

【①IT 支援事業】

前年度に引き続き、仙台市委託分でのバーチャル工房事業（IT 講習）と重度障害者コミュニケーション支援センター（IT サポート），宮城県委託分となる「みやぎ障害者 IT サポートセンター（IT 講習・IT サポート・パソコンボランティア）」に取り組んでいく。

「IT 講習事業」

仙台市障害者バーチャル工房事業

仙台市障害者バーチャル工房事業では、平成 18 年度から取り組んでいた「個人事業主を目指す」を復活させるべく専門的な講習に取り組んでいく。講習内容として、HTML 講座、画像編集講座、動画編集講座、3DCAD 講座、ビジネスメール講座、ワークフロー講座の 6 講座を計画している。

みやぎ障害者 IT サポートセンター

集合研修である「IT 講習」，集合研修に参加が困難な方向けの「訪問講習」，IT 講習から次のステップを目指す「スキルアップ講習」の 3 種に取り組む。

「IT サポート事業」

仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター

平成 23 年度から取り組んでいる仙台市内に住む重度の障害のある方の意思疎通支援事業を本年度も継続させる。また、**本年度より利用登録や支援計画に基づいた支援方式**を取り入れていく。

同時に平成 29 年度 10 月から取り組みはじめた日曜日の開所については、その後、全体的な稼働状況に課題がみられた事から、この課題を解決するため、**電話転送での対応**も試験的に導入していく。

みやぎ障害者 IT サポートセンター

宮城県全域を対象に、訪問・電話・FAX・メール・来所対応等により、障害のある方のパソコン等の IT 機器の利用支援を実施する。障害のある方のパソコン等の IT 機器の利用支援については、本 NPO 法人の得意とする分野であり、これまでの経験や重度障害者コミュニケーション支援センター事業と協力体制を築き取り組んでいく。

また、新しい運営拠点作りにも取り組んでいく。

「パソコンボランティア関連事業」

本年度より、みやぎ障害者 IT サポートセンター事業の一環として、パソコンボランティア関連事業に取り組んでいく。具体的な業務として「養成講座」の実施と「派遣事業」に取り組んでいく。

パソコンボランティア養成講座

県民を対象に、パソコンボランティア養成講座に取り組んでいく。特に、これまでの初級、中・上級の内容で開催されていた方式を、必修科目に初級、中級を位置づけ、上級の内容を選択科目として実施し、より参加しやすい養成講座を開催していく。

パソコンボランティア派遣事業

パソコンボランティア登録者の活動を支援するための事業として、派遣事業を実施する。活動を必要としている当事者とのコーディネート。ボランティア保険への加入。活動に要する費用などを支給するなどの業務を担っていく。

【①- ii . IT 支援関連事業】

「支援機器導入支援（重度障害者用意思伝達装置等の販売事業とアフターフォロー）」について、これまで通り継続させる。

特に、仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター事業に取り組むうえで、仙台市内に関する活動を廃止していたが、本年度は、**仙台内での事業展開の復活**について取り組んでいく。

収入獲得支援事業については、就労継続支援 B 型事業所への参加により利用者負担が発生するなど、不利益が発生する障害者に対し、該当者が得意とする「キーガード製作」を中心に取り組む。

これまで取り組んできた横断幕等の「印刷関連」、「データ入力」については、積極的に就労継続支援 B 型での生産活動機会の提供や就労に必要な知識や能力等の訓練事項として取り組んでいく。

【②- ii . 福祉支援関連事業】

福祉支援事業では、引き続き福祉名刺・卓上カレンダーの障害者作品の販売を継続すると共に、販路拡大を図っていく。

【③- i ~ iii . 各種委託事業】

各種委託事業では、次の i ~ iii について実施する。

i. 重度障害者 ICT コーディネータ育成事業事務局業務委託

東北福祉大学が実施する重度障害者 ICT コーディネータ育成事業の事務局業務を通じ、人材育成の後方支援を行う。

ii. ホームページ更新委託

これまで障害者在宅就労支援の発展的な位置づけとして取り組んできたホームページ制作や更新作業に関する委託業務を継続させる。

iii. 「伝の心」カスタマーセンター業務委託

「伝の心」カスタマーセンター業務を継続させる。取り組む業務として、従来の電話対応の他に、意思伝達装置のレンタル事業の検品・整備を実施する。

また、意思伝達装置のレンタル事業の検品・整備業務については、部分的に就労継続支援 B 型での訓練機会として活用したい。

【④. 資格認証事業】

今年度、新たに教育課程を修了した申請者に対し資格認証を実施する。

【⑤. 障害福祉サービス】

平成 29 年度に取り組み始めた障害者総合福祉法に基づく就労継続支援 B 型事業所「せんだい庵」(定員 20 名) を引き続き運営していく。

工賃の発生する作業として、前年同様の「ホームページ製作や更新作業」「カッティングシート加工」「文字・音声データ入力」「3D モデル作成・出力」「動画のデジタル化」「アンケート集計作業」「大判印刷」「写真撮影」「パンフレット立て作成」「機器販売事業書類等作成作業」に加え、新たに「封筒への封入作業」や「動画編集」を提供し、作業量も増やしていく。

さらに、知識・技能を高める訓練として、書類作成、画像加工、動画編集、HTML5 & CSS3 を用いたホームページ作成、3D モデル作成から 3D プリンタへの出力、カッティングプロッターを活用したホップアップカードの作成といった各プログラムに加えて、面談練習などの就職を見据えたプログラムも提供していく。

また、前年度の課題から、さらなる利用者の確保にあたっては、作業室のキャパシティを考慮し在宅利用者をより増やしていく。

開所から 2 年目に突入するにあたり、利用者の就労継続支援 A 型事業所や就労移行支援事業所、就職への移行についても取り組んでいく。

今年度中に利用者数 15 名（平均利用者数 8 名以上）、平均月額工賃 5,000 円以上を目指す。

【その他 助成事業等】

ソフトバンクソーシャルチャレンジ

従来の重度障害者用意思伝達装置から Pepper を自由に動かすことができ、Pepper の操縦者（ALS 患者を想定）がベッド上にいながら、リビングや別室の家族等とコミュニケーションが図れることを目標に取り組んできた研究が、平成 30 年度に実施した 6 回の実証試験を経て、システムのプロトタイプ版が完成した。昨年同様に、論文の執筆・演題発表といった成果発表を行い、今年度は新聞や全国放送を視野に入れたメディアによる情報発信を計画している。

本研究に協力してくれる ALS 患者の自宅に長期的に Pepper を置かせてもらい、システムの評価を行う予定である。

以上の事業以外として、本法人の理事や会員の協力を得ながら新規会員拡大を本格的に推進してゆきたい。更に、各種助成金・補助金獲得の努力を続け、財政基盤強化を図ると共に、環境整備や各種事業の展開能力拡大を図ってゆく。

平成31年度事業計画書

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
① IT支援事業						
・IT講習事業 ・ITサポート事業 ・パソコンボランティア	・IT講習 (バーチャル) HTML 画像編集 動画編集 3DCAD ビデオメール ワークフロー (ITサポートセンター) IT講習 訪問講座 スキルアップ研修 ・ITサポート (重コミュ) (ITサポートセンター) ・パソボラ 養成講座 派遣事業	4/1-3/31 (別途、日程 計画による)	宮城県障害者 福祉センター等 宮城県域 仙台市内 宮城県域 宮城県域	2名 3名 5人 3人 2人	障害者 障害者 90人程度 重度障害者 80人程度 障害者 延べ550人程度 県民20人程度 障害者10人程度	9,941
・IT支援関連事業	・支援機器導入 支援 I型 ・収入獲得支援 キガード製作 I型	4/1-3/31 (随時)	・SAN事務局及 び障害者宅	2人 3人	・ALS等患者 20人程度 ・障害者 10人程度	2,100
②福祉支援事業						
・福祉支援関連事業	障害者作品販売 事業 ・福祉名刺 ・卓上カレンダー	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局	2人	・市民延べ160人 ・障害者1人	400
③各種委託事業						

・業務委託	・東北福祉大学 (ICT育成) ・HP更新委託 I型 ・パシフィックサプライ 株式会社 (伝の心コールセンター 業務) I型	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局 パシフィックサプライ 株式会社仙台 営業所	3人 3人 3人	・学生8人 障害者3人 障害者延べ300人	555
④資格認証事業						
・重度障害者ICT 支援コーディネ ータの資格認証	・申請への審査 ・資格認証	4/1-3/31 上半期及び 下半期の 計2回認証	SAN事務局	3人	・学生4人	2
⑤障害福祉サービス						
・就労継続支援B 型	・生産活動の機 会提供 ・就労に必要な 知識や技能の訓 練	4/1-3/31	就労継続支援B 型事業所内	4人	障害者 20人程度	2,433
その他						
・助成事業	ソフトバンクソ ーシャルチャレ ンジ	4/1-3/31		1人		

2019年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支予算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

科目	金額(単位:円)		
収入の部			
1 会費収入			
個人正会員会費収入	150,000		
団体正会員会費収入	200,000		
個人賛助会員会費収入	30,000		
団体賛助会員会費収入	100,000		480,000
2 事業収入			
IT支援事業収入			
·IT講習・サポート事業収入	40,956,680		
<バーチャル工房事業>		1,348,600	
<重度コミュニケーション支援事業>		23,974,000	
<みやぎ障害者ITサポートセンター>		15,634,080	
·IT支援関連事業収入 型	3,500,000		
<支援機器導入支援>		3,000,000	
<収入獲得支援>		500,000	
福祉支援事業収入	450,000		
·自助・自立のための支援事業収入		0	
·福祉支援関連事業収入		450,000	
各種委託事業収入	3,400,000		
·ICT事務委託		100,000	
·ホームページ更新委託 型		1,500,000	
·伝の心カスタマーセンター業務委託 型		1,800,000	
資格認証事業収入	6,000		
障害福祉サービス(就労継続支援B型)	17,445,600		
<訓練等給付費収入>		14,745,600	
<就労支援事業費収入>		2,700,000	65,758,280
3 助成金・補助金収入			
	0		0
4 寄附金収入			
	0		0
5 雑収入			
預金利子	1,000		1,000
6 その他			
	0		0
当期収入合計(A)			66,239,280
前期繰越収支差額			502,175
収入合計(B)			66,741,455

支出の部			
1 事業費			
IT支援事業支出	9,466,093		
・IT講習・サポート事業支出		664,600	
<バーチャル工房事業>		4,062,000	
<重度コミュニケーション支援事業>		4,739,493	
・みやぎ障害者ITサポートセンター>			
・IT支援関連事業支出 型	2,100,000		
<支援機器導入支援>		2,000,000	
<収入獲得支援>		100,000	
・福祉支援事業支出	400,000		
・自助・自立のための支援事業支出		0	
・福祉支援関連事業支出		400,000	
・各種委託事業支出	555,000		
・ICT事務委託		5,000	
・ホームページ更新委託 型		500,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 型		50,000	
・資格認証事業支出	2,000		
・障害福祉サービス(就労継続支援B型)	2,432,600		14,955,693
2 管理費			
人件費	45,584,667		
…人件費:事務局		1,000,000	
…人件費:バーチャル工房		684,000	
…人件費:コミュ支援		19,912,000	
…人件費:サボセン		10,778,667	
…人件費:支援機器導入支援		300,000	
…人件費:ICT		50,000	
…人件費:カスタマーセンター 型		1,300,000	
…人件費:就労継続支援B型		11,560,000	45,584,667
事務局家賃	0		
通信費	50,000		
消耗品費	30,000		
備品費	30,000		
旅費・交通費	20,000		
印刷費	10,000		
理事会運営費	2,000		
総会運営費	2,000		
公租公課	1,300,000		
講習会等	5,000		
交際費(慶弔費)	20,000		
宣伝・広告費	30,000		
支払手数料	5,000		1,504,000
3 雑損失			
	0		0
4 予備費			
	20,000		20,000
5 その他			
一時借入金	4,000,000		4,000,000
当期支出合計(C)			66,064,360
当期収支差額(A) - (C)			174,920
次期繰越収支差額(B) - (C)			677,095

2019年度 就労継続支援B型事業 会計収支予算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

科目	金額(単位:円)		
収入の部			
1 訓練等給付費収入	14,745,600		
平均利用者数:12名			
利用日数:20日			
作業時間:4時間			
訓練等給付金:5,120円(1日当たり換算)			14,745,600
2 就労支援事業費収入			
IT支援事業収入			
・IT支援関連事業収入 型	1,200,000		
< 支援機器導入支援 >		200,000	
< その他(印刷関連、データ入力等) >		1,000,000	
各種委託事業収入	1,500,000		
・ホームページ更新委託 型		1,000,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 型		500,000	
その他	0		
			2,700,000
当期収入合計(A)			17,445,600
前期繰越収支差額			-6,783,540
収入合計(B)			10,662,060
支出の部			
1 事業費			
工賃 一人当たり5,000円/月	900,000		
・IT支援関連事業			
・各種委託事業			
・その他			
就労支援事業費	100,000		
			1,000,000
2 管理費			
従業員給与	11,560,000		
支援員2人分		6,900,000	
支援員2人分 事業所負担保険料		1,060,000	
支援員1人分(SAN職員充当分)		3,600,000	11,560,000
事業所賃貸料	607,000		
通信費	100,000		
消耗品費	60,000		
交通費	200,000		
PCリース	100,000		
備品費	200,000		
保険料	165,600		
			1,432,600
当期支出合計(C)			13,992,600
当期収支差額(A) - (C)			3,453,000
次期繰越収支差額(B) - (C)			-3,330,540